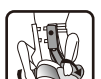
4 構　造

4-1 機　能

1. 「一定の距離」離れた瞬間作動し、エアーバッグ（気室）に炭酸ガスを送り込み膨らみます。最大限に膨らませても、衝撃を緩和する効果があります。

2. 胸部にあるカートリッジボンベのネジ、キーボックスの背面部分には、事故の際にそれらの突起物が原因となる衝撃を緩和・分散させるために、緩衝材やキーボックスのフレート（プラスチック製）が取り付けてあります。

3. 作動後、最大限に膨らんだエアーバッグ（気室）は、徐々にガスが抜ける仕組みになっています。プラスチック製の衝撃度合いなどにより変わりますが、作動直後に身体への圧迫があります。徐々にガスが抜けて圧迫がなくなっていきます。息苦しい場合は、ガス抜きバルブのキャップを over ぱず抜く（右図）か、脱衣して圧迫を解消して下さい。



※モデルによってガス排出バルブがない場合があります

◀ プロンプタプターやバックルを外し、左右気室先端を後ろ方へ引き抜き解消できます。

注意 4. ヒットエアーシステム及びウエスト及び生地、気室、マジックテープ、プラスチック、バックル等が傷いたり、破損した状態、正常な作動をしません。取扱店にご相談下さい。再生できない場合があります。

注意 5. 事故などで作動し、傷・破損等が見当たらない場合でも取扱店、又は当方にてメンテナンスをご依頼（※3）を行ってから再使用する事をお勧めします。

（※3）メンテナンスチェックとは、ウエアなどに、傷・破損が見当らなくても、その中に組み込まれている気室に破損がある場合がありますので、当方にて気室に空気を入れ漏れがないか、又、組み込まれた部品に異常がないかを確かめる作業です。

4-2 気　室

1. 気室の素材は、筒状のポリウレタンを使用し、より強度をもたせ、作動時の衝撃を出来るだけ多く吸収するようにしてあります。

2. 通常、作動した瞬間の気室の圧力は、最大膨張時約30kpa（約0.30kg/cm）程ですが、徐々に力が放出され、圧力はさがっていく様になっています。
※使用条件や気温等によって圧力は変わる場合があります。

3. 炭酸ガス（CO2）はキーボックスのシリンダーユニットを通り各気室（ポリウレタンフィルム）に送り込まれます。

4. 破損等に対する強度は、ウエアの素材、ポリウレタンフィルム及び、縫製強度によって違います。また、接触する物の形状、強度、摩擦等によって力が変わります。

○ ヒットエアーは、衝撃による多くショックを少しでも和らげるために作られたものであり、接触物の形状及び、衝撃の度合いにより、破損等も考えられます。

7 作動後の再生

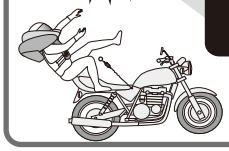
7-1 再生するには

一度作動したヒットエアーシステムは、取扱店で〈メンテナンスサービス〉をして、再生させる事をおすすめします。ここに紹介するセッティング方法で、各自で再生する事はできますが、正しくセットしないで利用した場合、正常に作動しない場合があります。又、作動した際などに外傷等の異常が発生したものは再生できません。以上の点を十分考慮してお取り扱いください。

再　生　方　法

作動（展開）

- 異常有り → 取扱店に持ち込み、メンテナンスチェックにより、再生可能か確認してもらい指示を受ける
- 異常無し → 取扱店に持ち込み、必要な部品（カートリッジボンベ等）を交換して再生する
- 異常無し → 各自で再生する
  ※未使用カートリッジボンベと付属の再生工具（セッティングボルト、六角レンチ）が必要です



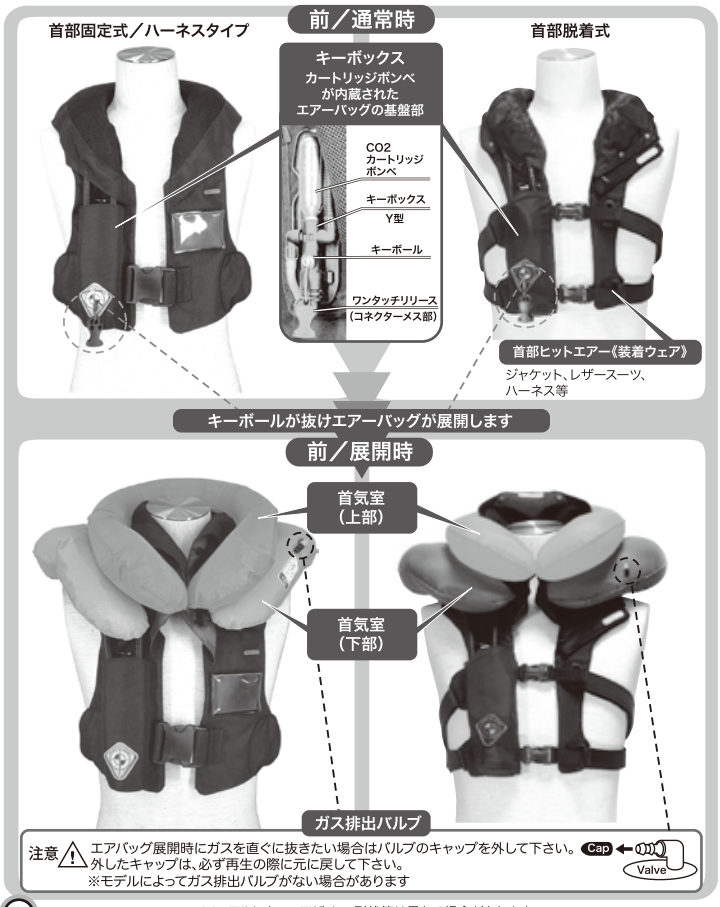
※附属品として六角レンチとセッティングボルトが付いています

各自で再生するおおまかな手順　詳しくは次のページの「再生作業」を参照下さい

- 未使用カートリッジボンベと再生工具を準備します　〈P19〉1 参照
- カートリッジボンベを外します　〈P19〉2 参照
- エアバッグ気室から炭酸ガスを抜き出します　〈P19〉3 参照
- キーボックスに工具を使ってキーボールをセットします　〈P20～21〉4～7 参照
- 気室を収納します　〈P21～23〉8～16 参照
- 未使用カートリッジボンベを取付けます　〈P23〉17 参照
- キーボックスのカバーを締めて完了です　〈P23〉18 参照

3 各名称・形状

首部ヒットエアーシステム



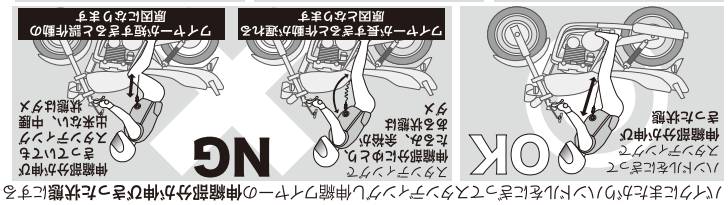
※モデルによってデザイン・形状等は異なる場合があります

5-4 伸縮ワイヤー取付方法・位置

○伸縮ワイヤーの取付方法

○伸縮ワイヤーの長さを調節方法

バンドに生地がのバンドルを巻きつけてスタンディングした伸縮部分が伸びきった状態



バンドの大きさ確認、ご自身の身長によって伸縮ワイヤーの取付位置、長さが異なりますので上記を参考にご自身にあった方法で調節してください。

伸縮ワイヤーは、運転動作の妨げになるような場所、バンドに負傷を及ぼす場所、引っ張られた際に外れたり緩むような場所、エンジン・マフラー等の高温部近辺、などへの取付はなさらないでください。

注意

《別売》収納用ワンタッチゴムワイヤーバンドを脚やワイヤーに巻き付けて固定できます。